



湘南ベルマーレ

湘南オリーブ 1/2

2020年「湘南オリーブ」事業への協力を開始。オリーブの商品PR・販売のみならず、耕作・収穫に参加。売上の30%はスポーツ振興費として湘南ベルマーレガールズチームの活動に役立てる。ユニフォームスポンサー 産業能率大学の学生が地域創生の授業の中で耕作・収穫、商品企画を、現役Fリーガー鍛代選手はセカンドキャリアとして自ら不耕作地を取得、実証実験を行うなど多くの協働者と一体となって不耕作地の活用、スポーツ振興、産業振興に取り組みながら、二宮を中心としたホームタウンの持続可能な名産品の誕生を目指す。



活動場所 二宮町、中井町、平塚市、秦野市、伊勢原市の各オリーブ耕作地



協働者

企業、行政、商工会

協働者名

二宮町、二宮町商工会内湘南オリーブ推進チーム、
株式会社ファームビレッジ湘南

協働者の声 二宮町商工会／片岡 宇一郎 氏

「湘南オリーブオイル」は、海と山に囲まれた温暖な二宮の立地を活かして栽培されるオリーブを搾油した、搾りたての繊細な「生」のオイル。二宮町商工会が地域ブランドとするべく、湘南ベルマーレ様ほか地域オリーブ関連団体、農場、ホームタウン各行政と協働で活動しており、味の良さが広がった近年、人気を博しています。

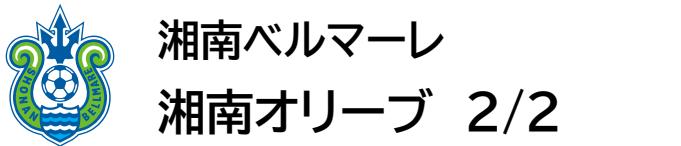


活動詳細情報

[公式サイト](#)

カテゴリー(SDGs)／取り組みテーマ





Story

ホームタウン湘南・西湘エリアでは、少子高齢化や産業構造の変化に伴う不耕作地の増加が問題となっています。そうでない耕作地においても豊かな自然故の野生動物による被害に頭を悩まされてきました。

そこで始まったのがオリーブの栽培。この地ならではの風土が栽培に適し、鳥獣被害も少ないオリーブは新たな産業の柱になり得ると、二宮町が普及の後押しをスタートしました。この時クラブもオリーブ栽培の振興を依頼されましたが、クラブは農業法人ではないため、パートナー企業の関連会社である農業適格法人(株)ファームビレッジ湘南がこの動きに



参加。中井町、平塚市、秦野市、伊勢原市でも植樹・栽培やノウハウの共有を行い、収穫量の増えたオリーブは製品化に至りました。

ここに発信力・販路を持つ湘南ベルマーレが加わり、二宮町商工会内湘南オリーブ推進チーム、ファームビレッジ湘南との三者による社会連携活動として取り組みが始まりました。

耕作・収穫にはアカデミーコーチ、フロントスタッフ、NPOスタッフなどが参加。クラブは商品として加工されたオリーブオイルや新漬けオリーブ、全身用保湿ゲル等を仕入れ、ホームゲーム等で販売。売上の30%を湘南ベルマーレガールズチームの活動に役立てます。販売ブースでは選手ら自らも商品のPRや呼び込みを行いました。

「リピーターも現れるほど好評で、収入は大きな助けになります。この事業をきっかけに、他にも地域の特性を活かした同様の取り組みが展開できれば、クラブの新たな収入源としても期待できます。引き続き力を注ぎながら、新たな活動の幅を広げていきたいです。」



そう担当者が手応えを滲ませる通り、ブースでの完売、ふるさと納税の返礼商品への起用、飲食店で提供したいという声がけと、その品質の認知は進んでおり、湘南オリーブは二宮を中心としたホームタウンの名産品としての地位を確立しつつあります。